

10月の総選挙を受けて「少数与党国会」となった臨時国会（会期末21（土）予定）と同時並行で、県議会2024年第4回定例会（12月3～19日）が開会中です。

佐藤県議は開会初日の3日、昨年度決算班討論にたち、昨年5月の奥能登地震の教訓が生かされていないこと、国民健康保険特別会計も「保険料水準の統一をめざす」としたことを指摘、県政の転換を求めました。

能登半島地震の被災者支援、来年の参議院選挙も展望し、以下の日程で質問にたちます。インターネット生中継は、「石川県議会 生中継」で検索してください。

●一般質問：12月12日（木）午後1時40分～（午後2番目、質問20分）

〈質問の柱（予定）〉

1. 能登半島地震・奥能登豪雨の被災者支援

直接死を上回った災害関連死から、教訓をどう生かすのか

医療費・介護保険利用料の減免期間の延長など

生活保護受給者の収入認定

公営住宅入居、災害公営住宅建設への支援、復興住宅モデルプランなど「住み続ける権利」の保障

仮設住宅の生活環境改善、住宅の耐震改修への支援拡充



2. 中小企業の賃上げ支援、他

佐藤県議紹介の 請願

○少人数学級の推進を求める（提出：少人数学級と豊かな学校生活を求める会）

○安心して、豊かな特別支援学校を求める（提出：芽吹きの手）



日本共産党提出の 意見書

1. 災害公営住宅の建設等への支援の拡充

2. 企業・団体献金禁止へ政治資金規正法の改正

3. 学費の無償化に向けた取り組みを